

《取材のご案内》

2016年2月●●日

報道機関 各位

東大阪橋梁維持管理研究会

会長 坂野昌弘

（関西大学 環境都市工学部 教授）

中小企業の技術力が結集 東大阪橋梁維持管理研究会が成果発表会を開催

～ 特許と産官学連携により安価で高品質な技術の提供に向けて ～
－ 日本の橋梁メンテナンス事業が大きく変わる －

この度、東大阪橋梁維持管理研究会（会長 坂野昌弘：関西大学環境都市工学部教授）は、これまでの取り組みで予想以上の成果が得られたことから、成果発表会を開催することとなりました。

同研究会は大阪府東大阪市等の中小企業群、関西大学、近畿大学、南海グループ、東大阪市、大阪府の産学官連携により、社会資本（社会インフラ）の維持管理についての調査研究を目的に、2014年1月に発足しました。

日本の橋梁は約70万橋

現在、2m以上の日本の橋梁は約70万橋といわれ、10年後には40%、20年後には65%超が建設後50年を越えるとのデータが示されています。これらの膨大な橋梁を全て更新することは不可能であり、メンテナンスによる長寿命化が焦眉の課題となっています。しかしながら、予算不足や維持管理の技術・人材の不足等により、メンテナンスに対応できない地方自治体が今後増えてくることが予想されます。

建築とメンテナンスの性質の違い

橋梁のメンテナンスは、点検、診断、措置、記録の4つの主軸事業に分けられます。メンテナンスは大量生産型で中央集権的な新設とは異なり、多品種少量生産型で地方分権的であることや、メンテナンス自体が総合的な事業形態であること等、人手を要し、それなりの技術とノウハウが必要となります。

中小企業の技術の結集と新たな事業展開へ ～橋梁メンテナンスの新時代へ～

こういった背景をもとに、同研究会は世界に冠たる日本の中小企業の技術力と利点を活かすとともに、本年3月以降に法人化し、産学連携による新たな橋梁メンテナンス事業を日本で初めて展開する予定です。これにより、これまで大手ゼネコンしかできなかった取り組みに、それぞれの地域の中小企業も参入することが可能となり、それぞれの地域産業での橋梁メンテナンスが可能となるとともに、地域活性化にも貢献できるものと考えられます。

今回の成果発表会では、タッピングボルトを用いた鋼床版の下面補修工法をはじめ、メンテナンスに必要不可欠な橋梁用ポータブル多機能掃除機や下面補強工法用の治工具、横桁や対傾構との交差部の下面補強工法等について発表するとともに、今後の法人化についてもお話する予定です。

つきましては取材についてご検討いただきますようお願いいたします。

記

【日時】 2016年2月29日（月） 16：00～20：00（会場受付15：30～）

【場所】 大阪商工会議所 地下1階会議室
〒540-0029 大阪府中央区本町橋2番8号

【次第】 (1) 16：00 今までの取り組みと成果の概要
(2) 16：15 プロジェクトの概要① TRS を用いた鋼床版の下面補修工法
(3) 16：30 プロジェクトの概要② 橋梁用ポータブル多機能掃除機
(4) 16：50 プロジェクトの概要③ 下面補強工法のための治工具
(5) 17：10 プロジェクトの概要④ 横桁や対傾構との交差部の疲労対策
(6) 17：30 特許出願状況
(6) 17：40 今後の展開
(7) 17：50 意見交換
(8) 18：00 交流会（20：00 終了予定）

【取材申込】 下記メールアドレス又は電話番号にご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ・取材申込先

○東大阪橋梁維持管理研究会 会長 坂野昌弘（関西大学環境都市工学部教授）
TEL：06-6368-1121／Email：peg03032@kansai-u.ac.jp

○東大阪橋梁管理研究会 事務局 平岡直子（株式会社オフィス・オルタナティブ内）
TEL 06-6585-0662／Email：al@co.email.ne.jp

以 上

≪東大阪橋梁維持管理研究会： <http://www.maido-hbmc.com/>≫